

1.計画名称

観光振興ビジョン

2.計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	やや遅れている	説明	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、誘客を積極的に行えなかったこともあり、観光資源を活用した通年型のプログラムや大人数参加型のプログラムの造成の進捗が遅れている。
今後の重点化施策番号	1	説明	ちのDMOの組織を充実し観光事業者やその他担い手との協力体制を構築する。そのうえで、地域にお金が循環する新しい仕組みを作ることによって、今後の観光まちづくりを推進していく。

3.各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	観光を支える人材・組織の充実	やや遅れている	地域と協働した交流プログラム作りを実践した。 駅案内所の改修工事を行った。	新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、人の移動について自粛が求められる期間があり、お客様の安全安心が求められる中、誘客は積極的に行えなかった。	推進機構が実施するプログラム造成等の事業に対し、組織の自立化(自主財源強化)を目標として支援するとともに、円滑かつ効果的な事業実施に導く。
2	多様な観光地の魅力を活かした滞在型観光の推進	おおむね順調	茅野市オリジナル商品の造成を行うことができた。	新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、人の移動について自粛が求められる期間があり、お客様の安全安心が求められる中、誘客は積極的に行えなかった。	引き続き推進機構によるプログラム拡充を支援し、年間を通した提供体制を整えていく。また、大人数が参加できる従来からの観光資源を活かしたプログラムの造成を働きかける。併せて推進機構が目指す滞在型観光の鍵となる古民家再生事業に対し支援していく。
3	新しい発想による観光資源の創出～観光を横軸にした産業連携、まちづくり	やや遅れている	プログラムの販売がまだ軌道に乗る前の段階。 新型コロナウイルス感染症の影響で、プログラム参加者数が減少した。	推進機構の方針として、個人観光客のニーズを優先したプログラム開発から着手したこともあり、通年型のプログラムや大人数参加型のプログラムの造成が不十分。プログラムの造成数の増進に比べ、利用者数は伸びていない。新型コロナウイルス感染症の影響で人の動きが制約される。コロナ禍で安心して参加できる仕組みが求められている。	引き続き推進機構によるプログラム拡充を支援し、年間を通した提供体制を整えていく。また、大人数が参加できる従来からの観光資源を活かしたプログラムの造成を働きかける。
4	観光まちづくりと連動した観光環境整備の推進	おおむね順調	・蓼科湖公衆トイレ付帯工事、道の駅看板設置工事が完了した。 ・総合案内所機能を有する駅前観光案内所のリニューアル工事が完了した。	・外国人旅行者の対応に必要なと思われるWi-Fiや多言語対応ツールなどの整備が遅れている。	・白樺湖畔の活性化を図るため、年次的に整備を進めていく。 ・Wi-Fiや多言語対応ツール等外国人旅行者等に向けた受入環境整備について、すぐに対応が難しいものについては、計画的な整備や対策を検討していく。

※5つ以上の場合は裏面へ

4.関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称	(書面による意見聴取)	<ul style="list-style-type: none"> ・DMOの変化に伴う抜本的な見直し、再構築が必要。DMOに1本化すべきだと考える。 ・二次・三次交通整備の重要性が高い。 ・アフターコロナに向けた取り組みに注力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的な視点で地域間連携が図れる体制づくり、DMO・市・事業者の役割分担等、検討の必要がある。 ・ちの割第2弾の実施により、長野県民等の誘客を推進している。
観光振興ビジョン推進部会			
開催回数	1		
参加延べ人数	15		
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			

5.添付資料

別紙「施策評価シート」